

担当教員 平井京之介				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSa01	授業形態 演習	単位 2
キーワード コミュニティ、実践、公共性		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較社会研究 I				
科目名称：英語 Lecture I (Social/Cultural Anthropology)				
科目の概要：日本語 コミュニティの人類学				
科目の概要：英語 The Anthropology of Communities				
<p>科目の目的：</p> <p>本授業では、人びとがコミュニティに参加し、そこから公共的なものが作り上げられていく過程について検討する。</p> <p>広い意味でコミュニティと呼ばれるものには、地縁や血縁を中心とする「共同体」から、「伝統」やシンボルによって創られる「想像の共同体」としての国民国家まで多様なものが含まれるが、近年、グローバル化が進み、人びとの伝統的な価値観や生活様式が大きく揺さぶられているなかで、地域の再生を目指す町おこしや生協活動といった新しいタイプのコミュニティ、参加型あるいは運動型のコミュニティが注目されるようになってきている。本授業では、近代性の制度と言説が統治の枠組みをつくりあげていくなかで、コミュニティによる統治に対する抵抗と自由の可能性について考えていきたい。</p>				
<p>学習成果・習得する技能や知識：</p> <p>コミュニティという概念の多様な使用法を正しく理解する。</p>				
<p>成績評価方法・基準：</p> <p>授業への出席、討論への参加度合い、テキストの読解力を踏まえ、総合的に判断する。</p>				
<p>授業内容：</p> <p>可能な限り討論を中心とする。受講者は、トピック毎に講義担当者が指定する課題文献の指定部分を、かならず該当トピックに関する講義開始以前に読了し、その要約やメモを用意して、講義での討論を行う。講義担当者は必要に応じて、討論への追加的情報提供を行い、議論が望ましい方向へ進むよう誘導する。</p>				
<p>日程：</p> <p>受講者と相談して決める。</p>				

<p>実施場所： 国立民族学博物館 4 階 4123 号室</p>
<p>使用言語： 日本語</p>
<p>その他使用言語： 英語</p>
<p>準備学習： 受講者は事前に指定された文献を読んでもらうこと。</p>
<p>関連科目・履修条件： 日本語および英語の文献が十分に読めること。</p>
<p>教科書・必読書： 最初の授業において受講者と話し合ってから決める。</p>
<p>参考書・その他の教材： アンダーソン、B 1997 『増補想像の共同体—ナショナリズムの起源と流行』、C・キャルホーン編『ハーバマスと公共圏』、Cohen, A. 1985 <i>The Symbolic Construction of Community</i>、Delanty, G. 2003 <i>Community</i>、齋藤純一 2000 『公共性』、田辺繁治 2005 「コミュニティ再考—実践と統治の視点から」『社会人類学年報』31号、他。</p>
<p>備考：日本語 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可</p>